

【資料3】

認知症の人やその家族の視点を重視
した地域づくりの推進について

認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりの推進

1 認知症の人やその 家族の居場所づくり

①Dカフェ

②ワーク
ショップ

③普及啓発

2 認知症サポーターの養成

①認知症サポーター養成講座/
ステップアップ講座

②町田市版
チームオレンジ

3 行方不明高齢者の 搜索支援

①認知症
等による行
方不明高
齢者搜索
事業

②探索
サービス
事業

① Dカフェ 概要

認知症の人やその家族のほか、地域住民などが気軽に参加し、認知症に関する情報交換や悩みなどを共有することを目的に、定期的に開催します。

【今年度の取り組み】

- ・オンラインでのDカフェを開催(月1回)、オンラインDカフェに参加しやすい環境を整備
- ・対面形式でのDカフェを再開(6月～)、開催方法の検討を継続

▼対面形式での再開について(スターバックスコーヒー)

- ・3店舗で再開(町田パリオ店・ぽっぽ町田店・南町田グランベリーパーク店)
- ・店舗数の理由:集客状況や実施状況を確認するため。運営体制を整えるため。
- ・この店舗の理由:普及啓発効果の高い店舗のため。Dカフェ経験者が在籍する店舗のため。

【課題】

- ・オンラインDカフェに参加しやすい環境をつくるために、会場の確保・支援者の確保
- ・対面形式のDカフェの運営に協力していただくファシリテーターの育成



① Dカフェ 実績

【実績】

- ・オンライン 開催数 全9回
参加者数 平均17.3人/回 ・ うち当事者数 平均2.3人/回
- ・出張版 開催数 全21回(2023年6月～・各月3店舗)
参加者数 平均13.3人/回 ・ うち当事者数 平均1.1人/回

※2023年12月31日現在

【課題に対する実績】

- ・オンラインDカフェに参加しやすい環境をつくるために、会場の確保・支援者の確保
⇒地域のボランティアの協力のもと、有志によるサテライト会場設置が実現した(2か所)
チラシ・ホームページでサテライト会場を案内した
- ・対面形式のDカフェの運営に協力していただくファシリテーターの育成
⇒認知症地域支援推進員から地域住民へ情報提供や声掛けを行ったこと等により、ファシリテーターの候補として3名に協力いただくこととなった。

② 普及啓発 概要①

広く市民を対象に、認知症とともに生きるまちのイメージを共有し、認知症当事者の声を発信・共有することを目的にイベントを実施します。

【今年度の取り組み】

- ・イベント名： まちだDサミット
- ・日程： 2024年2月24日(土) 13:00～17:30
- ・場所： 町田市民フォーラム 3階 ホール
- ・対象： 市内在住・在勤・在学の方
- ・申込方法： 事前申込制
- ・申込期間： 2024年1月16日(火)～2月14日(水)
- ・定員： 170名



まちだDサミット
2024 2/24 SAT
開催決定!!
参加費 FREE

認知症とともに生きるまちづくりを
みんなで一緒に考えてみませんか？

オレンジ・ランプ
39歳、パパが認知症!?
どうする、私!!

町田市民フォーラム 3階 ホール (町田市原町田4-9-8)
対象 町田市内在住・在勤・在学の方
時間 13:00-17:30
定員 先着 170名
内容 第1部 映画「オレンジ・ランプ」上映会
第2部 トークイベント
申込み お申込みの方法など、詳しくは町田市ホームページをご覧ください

主催 第1部 おれんじ薬局 第2部 町田市
お問い合わせ先 一般社団法人 Dフレンズ町田 TEL.042-732-3451

② 普及啓発 概要②

・内容： 第1部：映画「オレンジ・ランプ」上映（おれんじ薬局主催）

39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに、診断されてからの物語を夫婦それぞれの視点で描いた映画「オレンジ・ランプ」を上映する。

第2部：トークイベント（町田市主催）

原作者・脚本・プロデューサーの山国秀幸氏をお招きし、物語に込めた思いをお話しいただく。参加者同士でも映画の感想や気づきを共有する。

・運営形態： 業務委託、ボランティア（※）による企画会

※主に、第2部の企画検討・運営・広報等を行う。メンバーは認知症まちづくりファシリテーターを中心に、地域住民等で構成。

・テーマ： 映画を見て、講演を聞いて、感じたこと・気づいたこと・自分だったらできそうなことを考えるきっかけ

【テーマ設定の理由】これまで認知症の人と関わったことがない人、広く市民を対象

ハードルを上げすぎないかたちで、「認知症」というテーマに触れてもらいたい

② 普及啓発 スケジュール

11～12月

- ・ 企画会による上映会、講演会、ワークショップ、広報の検討
- ・ 進捗確認(月2回)

12月20日

- ・ イベントリリース

1月

- ・ 参加者募集開始(1月16日～2月14日)
- ・ 企画会による上映会、講演会、ワークショップ、広報の検討
- ・ 進捗確認(月2回)

2月24日

- ・ イベント開催

③ 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ 概要

行政を含む地域が一体となってまちづくりを推進するためのワークショップを実施。地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、医療福祉関係者、民間企業、一般市民などにご参加いただき「認知症とともに生きるまち」の実現に向け話し合いを行います。

【今年度の取り組み】

・テーマ： 16のまちだアイ・ステートメントの発信と活用

多様なセクターに16のまちだアイ・ステートメントを知っていただき、活用していただくことで、行政と市民が一体となった認知症とともに生きるまちづくりを推進していく。

(例) 16のまちだアイ・ステートメント作成に至った背景や目的を共有

日々の生活の中で、自身ならどのアイ・ステートメントに取り組めるのか、取り組みたいかアイデアをディスカッション

・実施方法： 業務委託



③ 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ 実績①

学生向け	
開催日	2023年6月14日(水)
サブテーマ	認知症・認知症の人に馴染みの薄い学生に伝える
対象	桜美林大学学生(健康福祉学群社会福祉学専攻「社会福祉入門」受講生)
会場	桜美林大学
参加人数	76名(9割以上が1年生)
実施のポイント	<ul style="list-style-type: none">・講義の一環・認知症サポーター養成講座(別日)との連動

③ 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ 実績①

認知症当事者3名をお招きし、それぞれの暮らしや思いについてお話いただきました。



学生向けWS
グループワークの様子



学生向けWS
認知症サポーター養成講座の様子

認知症当事者のエピソードから、その人が自分らしく暮らし続けるために、私(個人)や私たち(グループ)にできることを考えました。

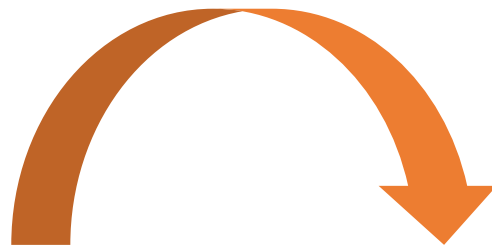
③ 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ 実績②

地域団体向け	
開催日	2023年10月5日(木)
サブテーマ	地域活動が“つながる・ひろがる”
対象	地域で活動をしている方(まちカフェ！ 出展団体中心)
会場	市庁舎おうえんルーム
参加人数	12名
実施のポイント	・まちカフェ！との連動企画

③ 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ 実績②



地域団体向けWS
グループワークの様子



<WS後の展開>
まちカフェ！でのコラボ企画

